

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	001	造林補助事業補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 森林資源の増強と森林の持つ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、森林組合等が実施する相当規模の地域を単位とした造林事業に対し助成するもの。
- ・内容 森林組合等が行う森林整備（1施行地0.1ha以上、保安林・自然公園等は0.05ha以上）に対して助成する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 概ね標高300m以上の水源の森林エリア内の森林整備によって、保水調節能力が高く、地表浸食防止に効果が高くなるなど、水源かん養等の公益的機能の維持向上
- ・目標値 2,090ha

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市林業振興事業補助金交付要綱
- ・計画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：1,472千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：1,472千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：1,472千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 秦野市森林組合が策定する森林経営計画に則った植栽から保育にいたる造林事業について、事業費の1.5/10以内を助成している。
- ・令和7年度 秦野市森林組合が策定する森林経営計画に則った植栽から保育にいたる造林事業について、事業費の1.5/10以内を助成している。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

森林組合が策定する森林経営計画に則った植栽から保育にいたる造林事業に対し、予算の範囲内で助成している。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

森林経営計画に基づき、計画的に造林事業を実施し、森林資源の充実を図る。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	001	造林補助事業補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由
該当なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和5年度決算：植生保護柵1320.80m
 令和6年度決算：植生保護柵 969.7m
 令和7年度予算：植栽1.00ha、植生保護柵425.50m、下刈1.00ha
 令和8年度予算：植栽1.00ha、植生保護柵453.30m、下刈1.00ha

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

神奈川県で策定している各補助要綱等の見直し時期に合わせて、市の要綱についても見直しを図る。

- ・神奈川県造林補助事業補助金交付要綱 ・神奈川県造林補助事業実施要領 ・神奈川県協力協約推進事業実施要綱
- ・神奈川県協力協約推進事業補助金交付要綱 ・神奈川県間伐材搬出促進事業補助金交付要綱
- ・神奈川県間伐材搬出促進事業実施要綱

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
- ・予算計上額（うち一般財源） 1,472千円（736千円）
 - ・内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	002	民有林整備活用事業補助金

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 森林資源の増強と森林の持つ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、国、県の補助事業である造林補助事業の対象とならない零細な森林を対象として、森林組合等が実施する森林整備と人工林の広葉樹への転換に対して助成する。また、所有者の森林経営に対する意欲の喚起と自立的な森林経営の環境整備を推進するため、木材搬出に対して助成するもの。
- ・内容 苗木の植付、間伐、枝打ち等の森林整備（一筆0.1ha以上1ha未満の森林を対象）に対して助成する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 概ね標高300m以上の水源の森林エリア内の森林整備によって、保水調節能力が高く、地表浸食防止に効果が高くなるなど、水源かん養等の公益的機能の維持向上
- ・目標値 2,090ha

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市林業振興事業補助金交付要綱
- ・計画 総合計画（基本施策331）、秦野市森林整備計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：2,317千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：2,317千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：2,317千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 1ha未満の森林を対象に、植栽、間伐、枝打ち等の森林整備に対し助成するもの。また、林業としての採算が見込まれない森林については、広葉樹への転換に対し支援を行い、補助金による長期間の整備支援が必要のない森林の拡大を推進する。
- ・令和7年度 1ha未満の森林を対象に、植栽、間伐、枝打ち等の森林整備に対し助成するもの。また、林業としての採算が見込まれない森林については、広葉樹への転換に対し支援を行い、補助金による長期間の整備支援が必要のない森林の拡大を推進する。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

1ha未満の森林を対象に、植栽、間伐、枝打ち等の森林整備に対し予算の範囲内で助成している。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	002	民有林整備活用事業補助金

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 1ha未満の森林所有者が約80%を占めているが、秦野市森林組合が森林経営計画を作成し、集約的な施業を推進している。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 (1) 増減理由
 該当なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和5年度決算：間伐材搬出5,239.018m³
 令和6年度決算：間伐材搬出4,280.145m³
 令和7年度予算：保育間伐0.25ha、枝打ち0.25ha、間伐材搬出2,057m³
 令和8年度予算：植栽0.10ha、植生保護柵100m、間伐材搬出1,537m³
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 神奈川県で策定している各補助要綱等の見直し時期に合わせて、市の要綱についても見直しを図る
 ・神奈川県造林補助事業補助金交付要綱 ・神奈川県造林補助事業実施要領
 ・神奈川県間伐材搬出促進事業補助金交付要綱 ・神奈川県間伐材搬出促進事業実施要綱
- 8 その他
 (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・予算計上額（うち一般財源）2,317千円（1,158千円）
 ・内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。
- (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	003	広葉樹林整備活用事業補助金

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市内全域における手入れがされなくなり荒廃した広葉樹林の整備を通じた健全な里山づくり、未利用材の活用を行う。
- ・内容 秦野市森林組合に対し、広葉樹林整備活用事業補助金を交付し、広葉樹林の整備を推進する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 広葉樹林を整備をすることにより、森林・里山が健全化する。針葉樹林と合わせた一体的な森林管理をすることで20年後には、秦野産ホダ木の生産が開始される。里山協議会と本事業を連携することで、里山団体の活性化、新規会員の増加に繋がる。
- ・目標値 年間2.0ha

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市林業振興事業補助金交付要綱
- ・計画 総合計画（基本施策332）、秦野市森林整備計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：4,340千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：5,477千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：6,400千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 森林・里山のアクションプランに基づき、秦野市森林組合が実施する広葉樹林の植栽から伐採、搬出に至る整備事業について、事業費の6.5/10以内を助成している。
- ・令和7年度 森林・里山のアクションプランに基づき、秦野市森林組合が実施する広葉樹林の植栽から伐採、搬出に至る整備事業について、事業費の6.5/10以内を助成している。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

森林・里山のアクションプランに基づき、秦野市森林組合が実施する広葉樹林の植栽から伐採、搬出に至る整備事業について、予算の範囲内で助成している。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	010	林業振興事業補助金	事業3	003	広葉樹林整備活用事業補助金

地域長期施業受委託事業の管理地内等において、未整備となっている広葉樹林について計画的に整備し、管理する。
また、薪の購入者に対してOMOTANポイントを付与することで、木質バイオマスの推進を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
薪の販売補助（新規）による増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和5年度決算：
令和6年度決算：整備面積 1.89ha
令和7年度予算：整備面積 2.0ha
令和8年度予算：整備面積 2.0ha（寺山地区1.15ha、横野地区0.60ha、堀西・堀山下地区0.25ha）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

神奈川県で策定している各補助要綱等の見直し時期に合わせて、市の要綱についても見直しを図る。
 ・神奈川県造林補助事業補助金交付要綱 ・神奈川県造林補助事業実施要領 ・神奈川県協力協約推進事業実施要綱
 ・神奈川県協力協約推進事業補助金交付要綱 ・神奈川県間伐材搬出促進事業補助金交付要綱
 ・神奈川県間伐材搬出促進事業実施要綱

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・予算計上額（うち一般財源）6,400千円（6,400千円）
 ・内 容 森林整備による二酸化炭素の吸収・固定化、薪の活用による木質バイオマスの推進を図る。
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	020	水源の森林づくり事業費	事業3	001	水源の森林づくり事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 森林の持つ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、協力協約を締結したものが、自ら適正な森林の管理を行うことに対して助成するもの。
- ・内容 県の施行する水源の森林づくり事業に参加し支援をする。
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 概ね標高300m以上の水源の森林エリア内の森林整備によって、保水調節能力が高く、地表浸食防止に効果が高くなるなど、水源かん養等の公益的機能の維持向上
- ・目標値 2,090ha

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市林業振興事業補助金交付要綱
- ・計画 秦野市森林整備計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 5,818千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 2,335千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 7,489千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 県からの支援により、水源林エリアの林齢35年以上の森林について整備を推進するとともに、木材利用の促進を図るため、作業路の開設に対し助成するもの。
- ・令和7年度 県からの支援により、水源林エリアの林齢35年以上の森林について整備を推進するとともに、木材利用の促進を図るため、作業路の開設に対し助成するもの。

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

水源かん養等の公益的機能の維持向上が必要な森林を計画的に整備できている。

5 令和8年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	020	水源の森林づくり事業費	事業3	001	水源の森林づくり事業費

森林の公益的機能を発揮させるため、森林所有者と協力協約を締結して、自ら又は委託して行う森林整備に対して助成する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

事業者の行う森林整備面積作業路整備延長の増加や施業内容の調整の結果、増額するもの。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度決算：森林整備 6.98ha（間伐 3.49ha、枝打ち3.49ha）、作業路 なし
 令和6年度決算：森林整備 1.40ha（間伐 1.40ha、枝打ち なし）、作業路 625.00m
 令和7年度予算：森林整備 1.58ha（間伐 1.58ha、枝打ち なし）、作業路 200.00m
 令和8年度予算：森林整備 1.64ha（間伐 1.64ha、枝打ち なし）、作業路 782.30m

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

県の水源の森林づくり事業を推進するための取り組みを継続して実施していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源）7,489千円（39千円）
- ・ 内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	001	里山ふれあいの森づくり事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 放置された里地里山を保全再生させる。また整備された里地里山を活用したイベントを実施し、市民への里地里山に対する理解を深める。
- ・内容 里地里山の整備活動、普及啓発活動、ふれあい活動を行う里地里山保全再生活動団体に対して、補助金を交付する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 里地里山を保全し、水源かん養等の森林の持つ公益的機能の回復を図るとともに市民への理解を深める。
- ・目標値 里山30ha、里地3haの整備を実施

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市里山ふれあいの森づくり事業補助金交付要綱
- ・計画 総合計画（基本施策332）、はだの一世紀の森林づくり構想、秦野市森林整備計画、秦野市生物多様性地域連携保全活動計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 6,236千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 8,349千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 8,182千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 里地里山保全再生活動団体による里地里山の整備
- ・令和7年度 里地里山保全再生活動団体による里地里山の整備

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

里地里山保全再生活動団体の会員の高齢化等に伴う会員の減少、担い手不足による団体数の減や事業縮小が課題となっており、新規団体の参入や新規事業地の確保が必要となっている。

はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会が実施する視察研修や里地里山フォーラム等の事業を通じて、市内里山団体の存続に関する共通課題の解決に向けた方針の策定を目指す。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	001	里山ふれあいの森づくり事業費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

里山整備については県の水源環境保全・再生市町村補助金を、里地整備については県の里地里山保全等促進事業補助金を活用して引き続き補助を行う。また、森林環境譲与税を活用して令和元年度から実施している竹林整備への補助も継続する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

里地里山保全再生活動団体の事業減による補助金の減額及び測量GPS機器の減に伴う備品購入費の減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和5年度決算 里山 31.95ha (28団体) 里地 3.63ha (5団体)
- ・ 令和6年度決算 里山 32.21ha (26団体) 里地 3.67ha (5団体)
- ・ 令和7年度予算 里山 43.90ha (27団体) 里地 3.71ha (5団体)

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

里地里山の保全活動は継続して行わないと効果が出ないため里地里山保全再生活動団体への補助を継続するとともに、里山保全再生事業や森林ふれあい事業により森林環境教育やボランティアの養成等を実施し、里地里山に対する市民の理解を深め、ボランティア活動の担い手の育成に努める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 8,182千円（1,045千円）
- ・ 内容 里地里山保全再生活動団体による森林整備活動により、二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	002	里山保全再生事業費（地域連携計画事業費）

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 森林づくりの実践活動を通して、市民の環境への理解が深まるとともに、市民主体の里地里山保全再生活動が持続的に行われ、多くの市民が散策、レクリエーション、環境学習の場として森林里山を活用できるようにする。
- ・内容 秦野市生物多様性地域連携保全活動計画に基づいた里地里山保全再生事業を実施するとともに、各地域の里地里山の特色を生かした里山づくりを各地域の団体等と連携し実施する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 森林づくりの実践活動を通して、市民の環境への理解が深まるとともに、市民主体の里地里山保全再生活動が持続的に行われ、多くの市民が散策、レクリエーション、環境学習の場として森林里山を活用することにより「水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市」の実現に繋がる。
- ・目標値 市民等の里地里山保全再生事業への参加者数の増加

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 生物多様性地域連携促進法
- ・計画 はだの一世紀の森林づくり構想、秦野市森林整備計画
秦野市生物多様性地域連携保全活動計画、里地里山保全再生モデル事業地域戦略

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 257千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 436千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 415千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 地元協力者、ボランティア等と連携して、里地里山の整備、各種イベント等を実施
ボランティア養成研修の開催、里山協力隊の活用
- ・令和7年度 地元協力者、ボランティア等と連携して、里地里山の整備、各種イベント等を実施
ボランティア養成研修の開催、里山協力隊の活用

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	002	里山保全再生事業費（地域連携計画事業費）

ボランティア養成研修や上地区いなか暮らし体験ツアーなどで地元協力者及び各地区の里山ボランティア団体と連携し、特色を生かした里地里山イベントを実施した。引き続き、市内外へのPRや他の里地里山関連事業との連携を図り、持続的な里地里山活動を推進する。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

市全域・各地域での保全事業、里山ボランティア養成研修等の継続的な事業の実施に加え、森林セラピー事業等との連携により、多くの市民が里地里山に興味関心を抱いてもらうよう努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

ボランティア養成研修修了記念品の見直し等による減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

ボランティア養成研修参加者数

- ・令和5年度 11人
- ・令和6年度 10人
- ・令和7年度 13人

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

各団体で魅力ある活動を展開し、参加費の徴収等による自主財源を確保できるようにする。また、各イベントの参加者が研修修了後にボランティア団体に加入できる環境を整え、里山整備の担い手増加を目指す。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 10千円（10千円）
- ・内 容 下草刈り等のボランティア参加者に電子通貨ポイントを付与する。

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	003	ふるさと里山整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市内全域における、手入れがされなくなり荒廃した里山林の整備を通じた森林の公益的機能の向上を目的とする。
- ・内容 県の水源環境保全・再生市町村補助金等を活用し、地域水源林エリアにおいて手入れの必要な私有林、共有林について、市と森林所有者で協約書を締結し、市の委託事業により、事業者による里山整備を実施する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 森林の公益的機能の向上
- ・目標値 事業実施による新規里山林整備面積（累計） 592ha
（平成14年度から令和7年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策332）
かながわ水源環境保全・再生施策大綱
かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 46,424千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 53,392千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 45,412千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 30.29haの森林整備、4.17haの測量調査
- ・令和7年度 4.17haの森林整備、13.65haの測量調査

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

対象森林面積1,159haに対し、令和6年度までに587.68haを整備し、着実に森林の公

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	003	ふるさと里山整備事業費

益的機能の向上に寄与している。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画の5年目の事業となり、整備13.65ha、測量調査4.37haを行うもの。

また、県補助事業での未整備箇所について、鳥獣被害やナラ枯れ等の課題解決に向けた里山林整備を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

・5か年計画に基づき調査及び整備箇所を選定した結果による減額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

・令和5年度 整備 7.70ha（1件）、測量調査30.29ha（4件）

・令和6年度 整備30.29ha（4件）、測量調査 4.17ha（1件）

・令和7年度 整備 4.17ha（1件）、測量調査13.65ha（4件）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画（R4～R8）に基づき継続して実施する。

また、県補助事業での未整備箇所について、鳥獣被害やナラ枯れ等の課題解決に向けた里山整備に取り組む。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源）45,412千円（13,149千円）

・内 容 森林整備により二酸化炭素の吸収・固定化を推進する。

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	004	地域水源林長期施業受委託事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 地域水源林を健全に育成し、水源涵養等森林の持つ公益的機能を高度に発揮させることを目的とする。
- ・内容 県の水源環境保全・再生市町村補助金を活用し、水源環境保全・再生への取組みを推進するため、秦野市森林組合に対し、地域水源林長期施業受委託事業補助金を交付し、森林施業の集約化を図り、持続可能な人工林の適切な整備を行う。
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 森林の公益的機能の向上
- ・目標値 県で策定している第4期水源環境保全・再生実行5か年計画の中で設定

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 かながわ水源環境保全・再生施策大綱
- ・計画 かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画
総合計画（基本施策331）

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：144,170千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：135,190千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：94,078千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 43.96haの確保業務、21.99haの森林整備、192.46haの管理業務
- ・令和7年度 12.80haの確保業務、35.50haの森林整備、225.95haの管理業務

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

森林施業の集約化が進み、持続可能な人工林の管理が着実に進んでいる。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

本年度は、第4期水源環境保全・再生実行5か年計画の5年目の事業となり、地域水源林内の人工林のうち、

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	005	森林セラピー推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 森林セラピー事業を実施する団体に交付金を交付し、イベント開催や体験プログラムの開発、人材育成、森林セラピーロード整備・管理、都市部等への普及啓発を実施する。
- ・内容 森林セラピー基地及び森林セラピーロード等において、既存の多様な地域資源や多様な主体と連携させながら、市民や都市住民等を対象に森林セラピーイベントを開催するなど、事業の推進を図る。
- ・SDGs
 - 3 すべての人に健康と福祉を
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 15 陸の豊かさを守ろう
 - 17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 森林セラピー基地及び森林セラピーロードを整備し、事業を実施することにより、地域の環境を活かした健康づくりや生きがいの場が創出されるとともに、都市住民や企業等の観光、心と身体の健康づくりの場としての利用が進み、交流人口や関係人口等の増加が図られる。
- ・目標値 森林セラピーイベント開催数 35回／年（令和8年度以降）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策332）、はだの一世紀の森林づくり構想、秦野市森林整備計画、秦野市観光振興基本計画、秦野市健康増進計画、表丹沢魅力づくり構想

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：1,430千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：1,124千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：1,169千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 はだの表丹沢森林セラピー協議会によるイベント開催や体験プログラムの開発、人材育成、森林セラピーロード整備・管理を実施
- ・令和7年度 はだの表丹沢森林セラピー協議会によるイベント開催や体験プログラムの開発、人材育成、森林セラピーロード整備・管理を実施、企業による環境教育学習を実施

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	030	里山保全事業費	事業3	005	森林セラピー推進事業費

- 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]
継続的かつ質の高い事業を実施していくため、運営体制の強化と柔軟な対応が課題。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
はだの表丹沢森林セラピー協議会によりイベントの実施・拡大を図るとともに、体験プログラムの開発や人材育成、環境の整備・管理を行うとともに、都市部等への普及啓発を目的とした広報を推進するものとする。また、令和8年度以降は、事業の運営委託を検討し、進めていくことで、将来的に交付金の削減を目指していく。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
- (1) 増減理由
新たな運営体制を構築するため、交付金の増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和5年度決算：はだの表丹沢森林セラピー協議会の開催
 はだの表丹沢森林セラピーガイドの登録、資格取得補助制度の運用
 体験イベント：36回
 令和6年度決算：はだの表丹沢森林セラピー協議会の開催、ガイド部会の開催
 はだの表丹沢森林セラピーガイドの登録、資格取得補助制度の運用
 体験イベント：42回
 令和7年度予算：はだの表丹沢森林セラピー協議会の開催、ガイド部会の開催
 はだの表丹沢森林セラピーガイドの登録、資格取得補助制度の運用
 体験イベント：25回
 令和8年度予算：はだの表丹沢森林セラピー協議会の開催、ガイド部会の開催
 はだの表丹沢森林セラピーガイドの登録、資格取得補助制度の運用
 体験イベント：35回
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
積極的な事業展開を図ることで、森林、観光、医療を通じた地域振興の実現を図る。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	040	林道整備事業費	事業3	001	林道整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 林道整備等により森林施業の効率化を促進させ、森林の持つ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させる。
- ・内容 森林資源の有効活用を図るうえで、伐採、搬出等の作業をスムーズに進めるための林道を整備する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 森林資源の有効活用を図る。
- ・目標値 森林組合で計画する森林施業の効果的な進捗を図るため、毎年整備をする。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 森林・林業基本法
- ・計画 総合計画（基本施策331）、秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：5,885千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：6,600千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：6,600千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：6,600千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 六本松林道の整備
- ・令和7年度 向山林道の整備

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

森林施業の効率化が促進されたほか、林道の安全の確保及び土壌の保全が図られた。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・森林施業等に合わせ、計画的な整備の進捗を図る。
- ・向山林道の整備

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- #### (1) 増減理由
- 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	040	林道整備事業費	事業3	001	林道整備事業費

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
森林組合と必要性を検討したうえで、整備が必要な場合は県と調整していく。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	050	林道補修事業費	事業3	001	林道補修事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 林道を補修することにより、林業の安全管理とその効率化を図る。
- ・内容 国や県の補助対象とならない林道の補修事業を実施する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 林道を補修することにより、林業の安全管理とその効率化を図る。
- ・目標値 設定なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 森林・林業基本法
- ・計画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 4,282千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 5,977千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 2,300千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 2,300千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 羽根林道、桜沢林道及び向山林道の補修工事
- ・令和7年度 羽根林道、桜沢林道及び向山林道の補修工事

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

林道の破損箇所等を補修し、林業関係車両の安全確保と林道の維持管理に努めた。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・羽根林道及び桜沢林道等の補修

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

向山林道の工事請負費の減。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	050	林道補修事業費	事業3	001	林道補修事業費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度決算：羽根林道、桜沢林道、向山林道の補修工事

令和6年度決算：羽根林道、桜沢林道、向山林道の補修工事

令和7年度予算：羽根林道、桜沢林道、向山林道の補修工事

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

水源環境保全による県補助金の活用を検討する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	060	森林ふれあい事業費	事業3	001	森林ふれあい事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 森林や木に親しみふれあう場を提供することにより、森林の管理・機能に関心を抱いてもらう。
- ・内容 市民や学生に対して、森林学習・森林体験を実施し「森林・林業の大切さ」を体得することにより森林や木に親しみふれあう場を提供する。
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市内の森林・里地里山の普及啓発、里地里山保全再生活動への理解、担い手の発掘に繋がる
- ・目標値 北小学校森林体験学習の継続、里山まつりの実施

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市森林整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：522千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：567千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：581千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：581千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 里山まつり、里地里山フォトコンテスト（応募数52点）、木工工芸作品展（応募数15点）の実施
- ・令和7年度 里山まつり、木工工芸作品展（応募数29点）の実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

環境学習や啓発事業においては、森林整備や里地里山に関心を持ってもらうだけでなく、保全再生活動への継続した参加に繋げていく必要があり、里山ふれあいの森づくり事業、里山保全再生事業などの事業との連携を進めていく。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

北小学校森林体験学習、里山まつり、木工工芸作品展の充実（親子部門の創設）、その他里山整備活動への協力等

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	060	森林ふれあい事業費	事業3	001	森林ふれあい事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
木工工芸作品展（親子部門創設）による消耗品（素材頒布等）の増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

地域住民や団体、学校、市、県、林業関係機関等が連携して、放置された広葉樹を主体とした森林を、自然とのふれあいや生きがいの場として有効に活用し、森林の活性化と森林や林業に対する意識の高揚、森林環境教育を進める。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・ 予算計上額（うち一般財源） 0千円（ 0千円）
 - ・ 内 容 SNS等を活用した新しい見せ方の検討
- (3) 自然災害対策への取組
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	070	里山ふれあいセンター管理運営費	事業3	001	里山ふれあいセンター管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 森林及び林業に対する市民の理解を深める。
- ・内容 地域林業者の活動を促進し、森林及び林業に対する市民の理解を深め、林業の活性化を図るための拠点施設として、施設の管理運営をする。
- ・SDGs 8 働きがいも経済成長も
15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 間伐材等の利用促進、木工製品の普及啓発、地場産木材の活用促進につながっている。
- ・目標値 指定管理者の自主事業を一層充実させ、広報活動を積極的に行うことにより、来場者の増加につなげる。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市里山ふれあいセンター条例、同条例施行規則、秦野市里山ふれあいセンターに係る指定管理者選定評価委員会規則
- ・計画 なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 7,533千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 7,532千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 7,770千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 指定管理者の管理運営や自主事業の内容等について評価し、併せて令和7年度以降の第5期指定管理者を選定するため、指定管理者選定評価委員会（年2回）を開催し審査し、その結果を今後の管理運営等に活かすとともに、民間事業者の持つ能力を活かした施設の管理及び運営の可能性を図った。
- ・令和7年度 指定管理者の管理運営や自主事業の内容等について、指定管理者選定評価委員会（年1回）を開催し審査し、その結果を今後の管理運営等に活かし、より質の高い管理運営につなげていく。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

秦野市森林組合の指定管理により、地域の里地里山の保全再生活動を促進するとともに、森林や林業に対する市民の理解を深めている。第5期指定管理者の選定後においても、質の高い管理運営を継続していく。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	070	里山ふれあいセンター管理運営費	事業3	001	里山ふれあいセンター管理運営費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

指定管理者による管理運営が、施設の設置目的を達成するとともにサービスの向上が図られているかを確認する必要があることから、指定管理者選定評価委員会を開催し、指定管理者の管理運営、自主事業の内容等について、指定管理者選定評価委員会にて外部評価を実施し、その結果を今後の管理運営に活かしPDCAサイクルを確立し、質の高い管理運営につなげていく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

指定管理者選定評価委員会の委員旅費の見直し及び労働条件審査を実施することによる委託費の増額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

より多くの人に施設を利用していただくために、市、指定管理者がともに広報活動に力を入れるよう努める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	080	木のある暮らしづくり事業費	事業3	001	木のある暮らしづくり事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 森林を保全するには、間伐等の森林整備を実施するとともに、森林から生産される木材を活用するなど循環の仕組みが必要となってくる。
そのため、県の「かながわ木づかい運動」と連携を図りながら、木材利用に対する意識啓発を推進するとともに、秦野産木材の需要拡大に取り組む。
- ・内容 木材の利用を促進することで森林の循環サイクルを構築し、林業の活性化や荒廃している森林の回復を図るため、木とふれあう機会の創出及び秦野産木材の普及啓発を推進する。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 秦野産木材の需要拡大を図ることにより、林業の活性化や森林の整備につながる。
住宅や民間建築物等の木造化・木質化等に助成することにより、秦野産木材の利用促進を図るとともに、市民が木とふれあう機会を創出し木材利用に対する理解と関心を高めるとともに、持続可能な森林資源の循環に寄与する。
- ・目標値 秦野産木材を使用する住宅や民間建築物等の補助件数。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市木のある暮らしづくり補助金交付要綱
- ・計画 総合計画（基本施策331）、はだの一世紀の森林づくり構想、森林・里山の活用アクションプラン

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 4,135千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 6,526千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 10,666千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 小学校児童用机天板補修を行い、地場産木材の普及啓発を図る。
市民等が木とふれあう機会を創出するため、秦野産材を使用したヒノキ玉、ペアコースターを作成し、出生届や婚姻届提出時に配付した。
- ・令和7年度 小学校児童用机天板補修を行い、地場産木材の普及啓発を図る。上小学校においては広葉樹天板を導入した。
市民等が木とふれあう機会を創出するため、秦野産材を使用したヒノキ玉、ペアコースターを作成し、出生

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	080	木のある暮らしづくり事業費	事業3	001	木のある暮らしづくり事業費

届や婚姻届提出時に配付した。
カラーレーザープリンターを導入し、全庁的に秦野産ヒノキを使用した木の紙の活用を促進した。

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]
木のある暮らしづくりとして、全庁的に生涯を通して木とふれあう機会を創出している。
秦野産ヒノキの小学校児童用機については、傷や汚損により毎年補修する必要があるなどの課題があったため、モデルケースとして上小学校に広葉樹を活用した天板を導入し、森林学習を実施した。
快適な住まいづくり補助金を見直し、非住宅や木育活動などの補助対象を拡大した。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
生涯を通じた秦野の木とのふれあいとして、関係課と連携しながら、ヒノキ玉や木のおもちゃ、木製紙卒業証書、婚姻祝い品、丸太ベンチ、敬老記念品などを作製し、市民生活のさまざまな場面で木とふれあえる機会を創出する。
秦野市木のある暮らしづくり補助金を創設し、住宅や民間建築物等への秦野産材の活用に補助を行い、市民等が木とふれあう機会を増やす。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
(1) 増減理由
補助制度拡充、人件費、材料費等の高騰による増額。
(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和4年度 快適な住まいづくり補助金 3件
令和5年度 快適な住まいづくり補助金 2件
令和6年度 快適な住まいづくり補助金 0件
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
秦野産木材のブランド化及び流通拡大に向けて課題を解決する手法を検討する。
市民生活のさまざまな場面で木とふれあう機会を創出する。
市内事業者が施工する住宅及び民間建築物等の木造化及び木質化等にかかる経費を助成することで、秦野産材の需要拡大に及び市民等が木とふれあう機会を創出につなげる。
- 8 その他
(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 予算計上額（うち一般財源）10,666千円（9,089千円）
・ 内 容 木の紙、ヒノキ玉、婚姻祝い品、丸太ベンチ、天板、補助制度等により木材利用を促進するとともに啓発する。
(2) 自然災害対策への取組
該当なし
(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	080	木のある暮らしづくり事業費	事業3	001	木のある暮らしづくり事業費

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	090	森林資源活用拠点事業費	事業3	001	森林資源活用拠点事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 羽根地内市有地の活用について、「羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用構想」を具現化し、表丹沢の魅力向上につながる土地利用を図る。
- ・内容 羽根地内市有地について、令和5年2月に策定した「羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用構想」に基づき、秦野の森林資源を最大限に活かし、かつ本市が目指すカーボンニュートラルに貢献する拠点となることを目指す。
- ・SDGs 8 働きがいも経済も
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 木材の需要拡大を図ることにより、林業の活性化や森林の循環につながる。
- ・目標値
 - ・森林資源を活用しつつ、カーボンニュートラルに貢献する拠点を旨す。
 - ・周辺施設と連携しながら、表丹沢の本物の魅力を体験し、学べる施設を旨す。
 - ・様々な主体が関わることで、表丹沢の多様な価値を引き出す施設を旨す。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策331）
羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用構想
羽根森林資源活用拠点（仮称）における土地利用計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 8,525千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 312千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 6,459千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 経済波及効果等調査、民間事業者の選定方法の検討
- ・令和7年度 検討会に関する会議、木材・林業部会、森林・観光部会、庁内部会の各種会議を開催し、民間事業者の選定方法等の検討、造成工事等に係る財源の検討

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	090	森林資源活用拠点事業費	事業3	001	森林資源活用拠点事業費

土地利用構想を具現化した土地利用計画に基づき、サウンディング型市場調査を実施し、経済波及効果等を検証するとともに、財源確保の検討を進めた。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 公民連携の検討会により民間事業者の選定に向けて取り組む。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

計画策定支援等委託費の増加による増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

参入する民間事業者の選定方法を検討し、選定する。

公有地の有効活用を図るため造成工事を実施する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・製材・加工機能による木材利用の促進、バイオマス施設によるゼロカーボンの推進。

(3) 自然災害対策への取組

・造成工事による土砂災害特別警戒区域の指定解除

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	100	市民による森林づくり事業費	事業3	001	市民による森林づくり事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 秦野市植樹祭など植樹・育樹・活樹事業を実施する団体に交付金を交付し、はだの一世紀の森林づくり構想の推進を図る。
- ・内容 市民主体の植樹・育樹・活樹事業の一環として事業を実施する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 秦野市民の共通財産である森林資源を、後世に残す。
- ・目標値 次の世代が引き続き森林の恩恵に与れるよう取り組む。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策332）、はだの一世紀の森林づくり構想

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：1,591千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：1,246千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：1,246千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 第16回秦野市植樹祭の開催（頭高山）
次世代への森林づくり（下草刈り）の実施、市民の日などへの出展
- ・令和7年度 第17回秦野市植樹祭が雨天により中止のため代替事業を実施（弘法山）
次世代への森林づくり（下草刈り）の実施、市民の日などへの出展

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

市民主体の植樹・育樹・活樹事業の一環として事業が実施できた

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

植樹事業：植樹祭の開催
育樹事業：下草刈りなど
活樹事業：秦野産材の活用・PR

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	100	市民による森林づくり事業費	事業3	001	市民による森林づくり事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和5年度 第15回秦野市植樹祭の開催（弘法山公園内）
次世代への森林づくり（下草刈り）の実施、市民の日などへの出展
- ・ 令和6年度 第16回秦野市植樹祭の開催（頭高山）
次世代への森林づくり（下草刈り）の実施、市民の日などへの出展
- ・ 令和7年度 第17回秦野市植樹祭は雨天により中止し、代替事業を実施（弘法山）
次世代への森林づくり（下草刈り）の実施、市民の日などへの出展

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・ 神奈川県で第51回全国育樹祭の開催が決定したため、育樹事業の取り組みを推進する。
- ・ 民間団体等の補助金を活用する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	110	林業事務費	事業3	001	林業事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 林業振興及び治山林道関連事業等のための事務経費
- ・内容 林業振興及び治山林道関連事業等のための事務経費
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 該当なし
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 2,439千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 2,540千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 2,573千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 林業振興及び治山林道関連事業等のための事務の執行
- ・令和7年度 林業振興及び治山林道関連事業等のための事務の執行

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

該当なし

5 令和8年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

各種負担金、委託金等の支出

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

全国育樹祭誘致に係る視察旅費の増によるもの。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140170000	森林ふれあい課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	02	林業費
目	01	林業費	事業1	057	01050201
事業2	110	林業事務費	事業3	001	林業事務費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和5年度 第46回全国育樹祭 茨城県潮来市、水戸市
- ・ 令和6年度 第47回全国育樹祭 福井県福井市、鯖江市、越前市
- ・ 令和7年度 第48回全国育樹祭 宮城県白石市、利府町

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

引き続き事務を適正に執行していく。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし